

事業名	畜産技術奨励費			調書番号	81
細事業名	養蜂関係経費	財務コード	056402		
担当部課室	農政 部 畜産 課 生産振興 担当 (内線)	5263			

事業の概要			
実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県 (直営、委託)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	養蜂協会・養蜂家	県内の蜜源を把握したり、適正な花粉交配の実態調査の実施や転飼調整会議に協力している	蜜蜂による生産物の増産
内容	<p>養蜂振興法に基づき、蜜蜂の群の配置を適正にする措置を講じ、蜜蜂による生産物の増産を図る。あわせて農作物の花粉受粉の効率化に資することを目的とする。</p> <p>県内を4地域に分け、蜜源植物の種類、分布状況、流蜜時期等の調査を行う。施設園芸農家、路地栽培農家における蜜蜂を用いた花粉交配の実態調査(利用作物別蜂群数)を行う。 委託先:山梨県養蜂協会</p> <p>山梨県外から蜂群を移動し、採蜜や越冬などの目的で一時的に県内で蜜蜂の飼育(=転飼)を希望する者を対象に、県内養蜂家との蜂群の分布等を調整して転飼の許可を行う。 蜜蜂転飼調整委員会の開催(1回) ・毎年1月に開催し、各申請に対して、可否や変更の必要を検討する。</p>		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)										
区分	指標			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	蜜蜂転飼調整会議の開催回数	目標	1	1	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b	b	b
成果指標	県内蜜蜂蜂群数	目標	700	735	865	1,179	999	1,330	1,300	1,300
		実績(見込)	735	865	1,179	999	1,330	1,300	1,300	1,300
		達成率	105.0	117.7	136.3	84.7	133.1	133.1	133.1	133.1
		達成区分	b	b	a	b	a	a	a	a
決算(予算) 単位:千円				137	137	133	128	128	(144)	(144)

事業の評価(平成27年度の業績評価)			
活動指標	b	評価	蜜源調査事業により県内における蜜源が十分に調査され、転飼調整会議において合理的な蜜蜂の分布が調整されていることにより、県内蜂群数は目標値999群に対し1,330群(33%増)となり、蜂群数増加の目標を達成し、蜂蜜生産の増加に結びついている。したがって、意図した成果を十分に上げている。
成果指標	a		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)			
関係与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い	
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他( )	
有効性(成果向上)	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない	
	説明	適正な蜜蜂の分布が調整された結果、蜂群数が目標より大幅に増加し、蜂蜜の増産につながっている。	
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない	
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )	
その他	説明		
見直しの必要性	有	県内養蜂家から提出される蜜蜂飼育届等に記載された情報が電子データ化されていないため、転飼許可業務に時間がかかり非効率となっている。	

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)			
実施方法等の変更	説明	蜜蜂飼育届に記載された情報を電子化し、転飼許可業務に必要な飼育場所等の情報の抽出を容易にすることにより、業務の効率化を図る。	

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。